

## 第6回会議の事前意見・質問と回答一覧

No.	委員	頁	意見・質問	計画への反映
1	友崎	28	第2章の安全・安心なまちづくりにコロナについて文言を加えて欲しい。	基本目標において、新型コロナウイルスへの対策について記載しております。その他、分野別方針などでも新型コロナウイルスを意識した内容を記載しております。
2	友崎	41, 43	第3章で国道道の改良・整備について、知事が北千葉道路の完成を述べた、位置は43頁に。	北千葉道路の整備の進捗を見据えた北総地域とのアクセス向上について、41pに追記しています。43pの都市交通に関する整備方針図は、道路線は距離が離れているため記載せず、県道佐倉印西線の北側に、本文の内容に合わせて「至 北千葉道路」と図示します。佐倉市と周辺自治体の広域の道路網の方針については、巻末資料に図を追加する方向で準備を進めています。
3	松浦	43	北千葉道路について都市交通に関する整備方針図で図示した方がいいのではないか。道路線の図示が難しければ北千葉道路までの距離など。	
4	松浦	51, 68	日本遺産の認定や、その後の方針について記載したほうがいいのではないか。	分野別方針の魅力の向上において、旧城下町地区について日本遺産「北総四都市江戸紀行」の認定を受けたことを明示します。
5	松浦	60	公共交通利用圏の状況の図で、JR佐倉駅の南側の一団の黄色いエリア(人口密度が60人以上80人未満)が利用圏外となっている。この地域についてどのように考えているか。	該当地域は工業団地のため、人口はほとんどいません。元図の市街化区域の着色が残っていて黄色くなってしまっていたため、図の修正を行います。
6	松浦	98	和田・弥富地域の主要課題に空き家・空き地対策について掲げるべきではないか。	空き家・空き地問題は市全体の問題としてとらえています。和田・弥富地域においては、農村集落、地域コミュニティの衰退の課題の一部として、空き家について記載し、地域コミュニティの活性化に取り組む方向で考えて
7	木内	108	「協働」という用語の定義について、市の条例を根拠とするような記載が必要ではないか。	条例で規定する市民協働は、市民、市民団体及び市による協働であり、都市マスで想定する民間企業等を含む協働の一部です。協働という言葉は条例上の市民協働に限定すると対象に齟齬が生じるため、原案どおりとしたい
8	友崎	108	第5章の市民が主体のまちづくりの推進に寿大学・しづ市民大学を加えて欲しい。	該当の箇所では、総合計画で記載している事業名称に合わせた表現（市民カレッジ・コミュニティカレッジ事業など）となっております。個別の事業名を掲載しているものではないため、原案どおりとしたいと考えていま